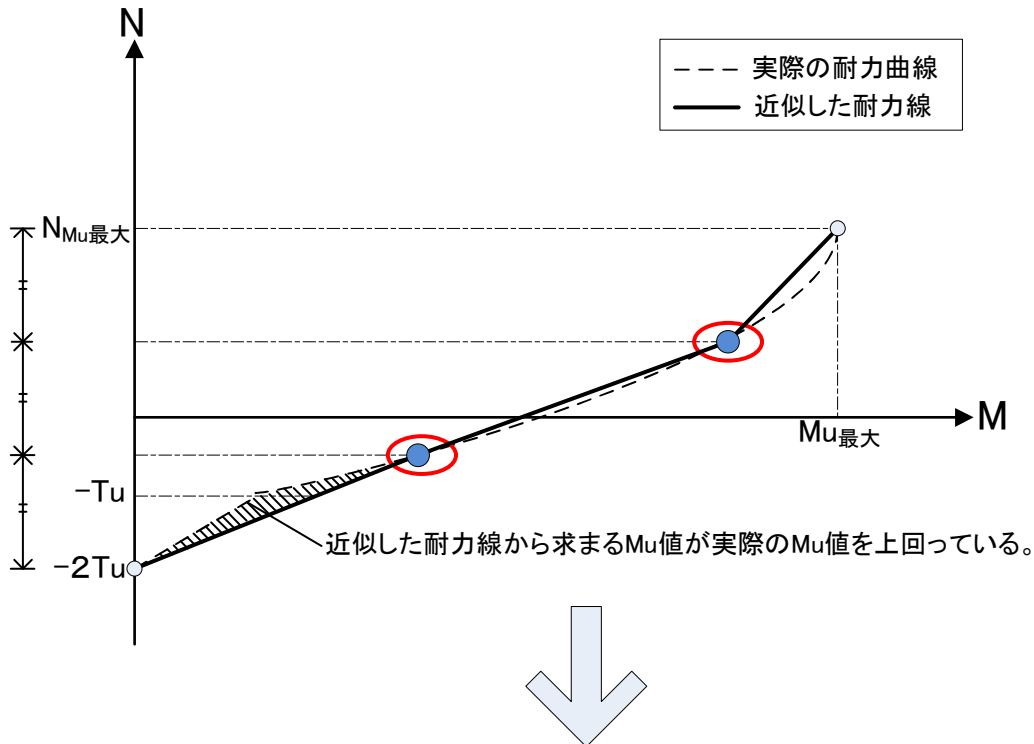


S造露出柱脚におけるM-N耐力曲線の耐力点の取り方の変更

弾塑性解析における柱脚の M_u は解説書計算編P.10-36(10.74)式～(10.76)式を5線分に近似した耐力線を採用しているため、実際の M_u を上回る箇所が発生する場合があります。(図①)
一方、終局時の断面算定では M_u を精算しているため、 D_s 算定時応力が M_u を上回りWARNINGを出力する場合があります。

そのため、終局耐力の点の取り方を一部変更しました。(図②)

図① 【Ver.1.1.1.23】 $N_{M_u最大} \sim -2T_u$ の間を3分割した点としていました。



図② 【Ver.1.1.1.24】 $N=-T_u$ の点をおさえて、 $N_{M_u最大} \sim -T_u$ の間を2分割した点に変更。

